

日本共産党 和歌山市会議員

# ひめだ高広ニュース

NO. 1135

17. 1. 17

## 「市民と野党の共闘」実感

新かい

1月13日(金)日本共産党和歌山県委員会がアベノ11年の国でこの17年新春のつどいを開きました。松坂英樹県会議長と藤下たけし市会議長が司会をつとめ、野尻富子副委員長の開会あいさつ。衆院和歌山選挙区1の区・原やすひさ2の区・下村雅洋3の区・くすもと文郎の3候補は、平和も社会保障も破壊する安倍暴走政治を批判し、政治を変えよために全力をあげる決

意を表明しました。初参加の市民連合あかやまの豊田泰史市代表(并議士)は、ともに奮闘した参院選の日本共産党について「昔からの知り合いのようになされた感じがした」と語り、県地評の夢海龍彦議長は「安倍政治を終わらせるには日本の未来にとって無量の問題。野党は共闘で」と訴えました。参院選で野党統一候補として奮闘した由良登信(たけのぶ)市議

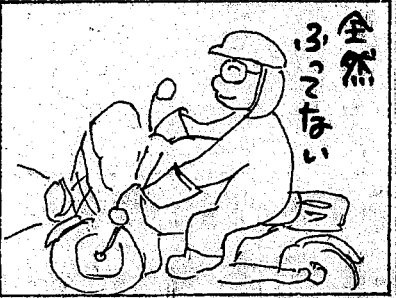
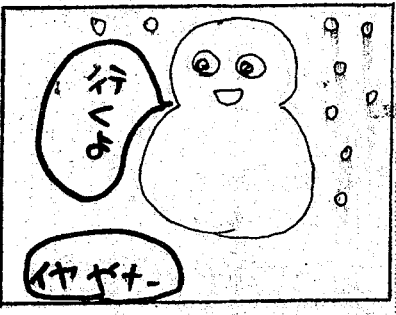
士は「市民と野党が共闘して安倍政治を倒す。それしかない」と力説。ママの会@あかやまの松永久規(ひさひさ)市人は「私たちのくらしは政治に直結している」と強調。県革新懇の泉敏孝(みづのたかたか)市代表は「歴史を前にすすめる人も」「歴史を前にすすめる野党共闘を」と訴え。原やすひさ1区候補とフエイズブックで交流するなか参加した和歌山信愛女子短期大学の伊藤宏教授は、詐欺的手法で支持をかすめると安倍政権を批判するとともに「いま求められているのは憲法を変えることではなく憲法どまりの社会をつくることだ」と訴え、元和歌山大学副学長の堀内秀

### フリーの人々



(918)

日	時	天気	気温
15	0	☁	1
(日)	3	☁	1
	6	☁	0
	9	☁	1



雄氏は「自民党の悪政と国民との対決の時代だ」と強調しました。見慣れないゲストの話を次々と聞いていて、こみか市民と野党の共闘があと新

## 今週のフリーの人々

(1862)

ちやうど、この週末昔から続いたものの例えとして「地震、雷、火事、オヤジ」と言われて来ましたが、私の子どもの頃には「女性と靴下は強くなつた」と言われ、オヤジの権威は下がり続けてきたようにすが……。1月も半ばになり日本中に大寒波が押し寄せました。土曜も日曜も月曜も明け方は雪が降るという天気予報でした。一昨年、昨年と雪で凍った道

路でバイクが転倒、打ち身だけでしたが、かなり痛い思いをしたので、雪は降ってほしくない、降ったとしても積もらないように願うばかりでした。天の味方があったのか、天気予報に反し雪の降り幅を新聞配達しながら、雪のなごりの幸せをかみこめた1週間でした。そして雪の降り積もる地方の新聞配達の仕事をしている自分には住めな



ひめだ高広

# 10年間の長期総合計画

特別委員会

1月16日から3日間連続で長期総合計画に関する特別委員会（日本共産党議員は南畑議員と私、ひめた）が開かれています。2017年度から2026年度までの10年間の計画年度とする長期総合計画の基本計画の制定で、議案の採否をめぐっての議論です。①安定した雇用を打ち出す産業が元気をもち、②住みたくて選ばれる

魅力がある、③ふるもたが、④誰もか安心して住み続けられる持続可能なまち、⑤4つの分野に分けて提示された政策について、考え方や方向性について議論しています。各政策に「まちづくり指標」が示されていますが、「ひめた高先」のものは、今後、順に紹介したいと思います。

## 日本共産党



**内閣支持率が低いのは…**  
安倍内閣の支持率が高いのはなぜか、と聞かれ「このままです。小泉内閣のときにも、あんな無茶なってるのになん

で支持率が低いのかとよく聞かれました。思えば、世論の反応は、かといくとマスコミ、なかでもテレビと新聞の影響が大きい。そのマスコミの要職にある人たちが、日夜、赤坂で安倍首相と会食して仲良くなっているのだから、時の内閣を悪くは、書けない。

「オレ、ジャーナリズムの随分だと思っ。欧米の商業マスコミは権力に對して立ち向かう態度で、日本の商業新聞やテレビとは比較にならないほど毅然としている。」



原 やすひさ (衆院1区)

2017 日本共産党 新春のつどい **築て暮らせる日本をつくら**  
1月29日(日) 11時~14時 会場 500円(弁当)  
片界波・健康館 49目的室  
お話し ひめた高先 原 やすひさ  
お楽しみ 二胡演奏 落語 三線・唄・舞 花 葉書 針花 折り紙のた  
弁当用意のため参加申し込みは事前に後援会様まで。

### 潮流

(2017.1.16 16時)

とよめきとともに、割れんばかりの拍手が長く続きました。民進、自由、社民、沖縄の風。次々と登壇する4野党・会派の代表を会場満員の参加者は熱く歓迎しました▼日本共産党の95年の歴史のなかで初めて党大会に招いた他の政党。それにこたえ、顔をそろえた安倍政権に対する野党。その姿は、市民のたたかいに背を押す水ながら、さびびきは、壁をのりこえてきた共闘の発展を公に示しました▼おらりと並んだテレビカメラ、2階の記者席もぎっしりの注目度。そのなかを「歴史的な使命を感じています」と緊張した面持ちであいさつに立ったのは安住淳・民進党代表代行。政治の潮流を変えるため、「度量と決意をもつて市民とともに共通の敵に立ち向かおう」と呼びかけました▼「野

党共闘の最大の原動力は共産党」。自由党の小沢一郎代表は声を大にして、それを前進させるために、もっとも、と緊張は関係なく。社民党の吉田忠智党首はこの日の勢ぞろいが「選挙協力を加速させるものと確信している」▼各代表とも強調したのが、政策と連携の大切さ。そして会場の熱気と温かさを示した。野党共闘の。元祖、代表として沖縄から国会に送りだされた系数慶子参院議員は「感動的。こんな仲間がい、ぱいいるんだと感あづけられた」▼週期となった党大会で突き合わせた団結のこぶし。全国草の根で活動する、その一つ一つ。手ざとりの固く握りあった野党。始まった日本の政治の新しい時代をさらに前に動かす、たしかな力です。

ぶん 赤旗 日刊紙 3497円